



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 クリエイトメディック株式会社
コード番号 5187 URL <http://www.createmedic.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 佐藤 正浩

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理統括部長 (氏名) 橋井 敦

TEL 045-943-2611

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	6,809	△2.0	340	△30.0	358	△35.8	167	△56.9
26年12月期第3四半期	6,950	△0.9	486	1.6	557	10.2	388	36.4

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 110百万円 (△77.0%) 26年12月期第3四半期 480百万円 (△33.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	17.44	—
26年12月期第3四半期	40.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年12月期第3四半期	16,920	13,037	77.1	1,355.80
26年12月期	17,906	12,897	72.0	1,341.24

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 13,037百万円 26年12月期 12,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	16.00	—	19.00	35.00
27年12月期	—	16.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	19.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,650	△2.9	620	△20.9	650	△35.2	327	△33.3	34.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	9,664,327 株	26年12月期	9,664,327 株
27年12月期3Q	48,249 株	26年12月期	48,213 株
27年12月期3Q	9,616,102 株	26年12月期3Q	9,616,313 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、円安の定着化などを背景に、大企業や輸出関連企業を中心に企業収益が緩やかな回復基調となりました。一方、海外は中国の景気減速などの影響を受け、先行き不透明な状況で推移しております。

医療機器業界におきましては、高齢化社会による潜在患者数の増加や地域包括ケアシステムによる在宅医療の推進などを背景に一部で需要拡大も見込まれておりますが、公道価格の改定や医療機関の共同購入による単価抑制圧力もあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、国内では慢性期医療分野の販売拡大と新規OEMの獲得に引き続き注力したほか、中国や欧州を中心とした海外販売の強化に努めてまいりました。

また、今後の成長戦略を確実なものとするために、新たな経営体制の下、営業・開発体制の強化や抜本的な原価低減などの重要施策の検討に鋭意取り組んでまいりました。

これらの活動により、売上高につきましては、国内の自社販売が前年並みで推移したほか、海外販売が中国を中心に堅調に推移いたしました。OEM販売が既存顧客の在庫調整により大きく減少したことにより、前年同期を下回る結果となりました。

一方、利益面につきましては、海外工場における生産集約などの原価低減により、原価率は前年並みとなりましたが、研究開発費や販売促進費などの販管費が前年同期比で増加したことから、営業利益、経常利益とも前年を下回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高6,809百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益340百万円（前年同期比30.0%減）、経常利益358百万円（前年同期比35.8%減）、四半期純利益167百万円（前年同期比56.9%減）となりました。

販売形態別の販売状況は、次のとおりであります。

< 自社販売 >

自社販売は、消化器系製品が公道価格の改定や企業間競争の影響で減少いたしました。泌尿器系製品が、フォーリートレイキットの製品ラインナップ拡充などにより伸ばしたほか、外科系の気管切開チューブが伸ばしたことにより、売上高4,485百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

< OEM販売 >

OEM販売は、消化器系製品が新規OEMの立ち上げなどにより堅調に推移いたしました。血管系製品が既存顧客の在庫調整により大幅に減少し、売上高1,040百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

< 海外販売 >

海外販売は、欧州市場が顧客の在庫調整により減少したものの、中国販売が泌尿器系製品を中心に引き続き堅調に推移したことから、売上高1,283百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して986百万円減少し16,920百万円となりました。これは、現金及び預金の減少258百万円、受取手形及び売掛金の減少744百万円が主な要因です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して1,126百万円減少し3,883百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少277百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少201百万円、退職給付に係る負債の減少530百万円、役員退職慰労引当金の減少94百万円が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して140百万円増加し13,037百万円となりました。これは、為替換算調整勘定の減少77百万円に対し、利益剰余金の増加197百万円、その他有価証券評価差額金の増加20百万円が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年8月4日の「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が565,567千円減少し、利益剰余金が364,338千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ17,214千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,362,806	4,104,342
受取手形及び売掛金	3,223,347	2,478,584
電子記録債権	354,144	473,654
有価証券	500,261	400,088
商品及び製品	1,487,033	1,540,644
仕掛品	574,382	687,685
原材料及び貯蔵品	588,558	522,347
繰延税金資産	112,733	160,852
その他	219,358	292,278
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	11,421,626	10,659,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,217,034	2,100,655
機械装置及び運搬具(純額)	799,947	716,672
土地	1,982,606	1,982,606
リース資産(純額)	5,797	-
建設仮勘定	14,374	348,754
その他(純額)	159,703	168,602
有形固定資産合計	5,179,463	5,317,291
無形固定資産		
借地権	194,733	187,826
その他	24,192	22,874
無形固定資産合計	218,925	210,701
投資その他の資産		
投資有価証券	634,161	559,122
繰延税金資産	375,477	123,882
その他	77,080	50,045
投資その他の資産合計	1,086,719	733,050
固定資産合計	6,485,108	6,261,043
資産合計	17,906,735	16,920,521

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	864,978	587,607
短期借入金	900,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	441,220	239,940
リース債務	6,105	—
未払法人税等	56,056	40,517
賞与引当金	30,389	142,109
役員賞与引当金	12,900	7,927
その他	695,583	576,912
流動負債合計	3,007,233	2,495,013
固定負債		
長期借入金	603,050	619,895
役員退職慰労引当金	181,388	86,538
退職給付に係る負債	1,205,283	674,708
資産除去債務	3,114	3,166
長期未払金	9,175	3,680
固定負債合計	2,002,012	1,387,988
負債合計	5,009,245	3,883,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,461,735	1,461,735
資本剰余金	1,486,022	1,486,022
利益剰余金	8,887,160	9,084,306
自己株式	△34,931	△34,967
株主資本合計	11,799,986	11,997,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79,300	99,798
為替換算調整勘定	1,048,803	971,093
退職給付に係る調整累計額	△30,601	△30,470
その他の包括利益累計額合計	1,097,502	1,040,421
純資産合計	12,897,489	13,037,519
負債純資産合計	17,906,735	16,920,521

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	6,950,116	6,809,849
売上原価	3,936,190	3,795,369
売上総利益	3,013,926	3,014,479
販売費及び一般管理費	2,526,973	2,673,830
営業利益	486,952	340,649
営業外収益		
受取利息	12,969	16,334
受取配当金	2,470	2,826
保険配当金	2,933	2,441
為替差益	53,365	—
金利スワップ評価益	509	—
その他	10,591	15,878
営業外収益合計	82,840	37,481
営業外費用		
支払利息	9,795	9,110
為替差損	—	4,916
金利スワップ評価損	—	1,336
その他	2,481	4,646
営業外費用合計	12,276	20,009
経常利益	557,517	358,121
特別損失		
関係会社出資金評価損	—	7,992
役員退職慰労金	—	27,573
特別損失合計	—	35,565
税金等調整前四半期純利益	557,517	322,555
法人税、住民税及び事業税	183,817	158,757
法人税等調整額	△15,291	△3,948
法人税等合計	168,526	154,809
少数株主損益調整前四半期純利益	388,990	167,746
四半期純利益	388,990	167,746

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	388,990	167,746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,877	20,497
為替換算調整勘定	87,700	△77,709
退職給付に係る調整額	—	130
その他の包括利益合計	91,578	△57,081
四半期包括利益	480,569	110,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	480,569	110,665
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはディスポーザブルカテーテル・チューブの製造・販売を主な事業とした単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。